



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 ヨコオ

上場取引所 東

コード番号 6800 URL <http://www.yokowo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長

(氏名) 徳間 孝之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 横尾 健司

TEL 03-3916-3111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,780	12.7	539	△18.0	939	17.7	1,007	101.0
25年3月期第3四半期	21,995	8.6	658	5.8	798	157.9	501	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,142百万円 (177.5%) 25年3月期第3四半期 771百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	50.38	—
25年3月期第3四半期	25.07	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	27,501	18,335	66.7
25年3月期	24,140	16,373	67.8

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 18,335百万円 25年3月期 16,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.00	—	5.00	9.00
26年3月期	—	4.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	9.5	850	60.6	750	△22.1	620	3.6	30.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	20,849,878 株	25年3月期	20,849,878 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	844,968 株	25年3月期	844,788 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	20,005,012 株	25年3月期3Q	20,005,223 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国経済やアセアン経済の好調な推移、欧州景気の底入れなどにより総じて緩やかな成長となりましたが、いわゆる出口戦略、特に米国での金融緩和縮小に伴う投資マネーの潮流変化とその影響に注目が集まりつつあります。

わが国におきましては、景況感改善などによる消費回復傾向が一服した後、消費税増税前の駆け込み需要が目立ち始めております。外為市場では円安が進行し、株式市場も年初来高値を更新する推移となりました。

当社グループの主要市場である自動車市場、半導体検査市場、携帯端末市場におきましては、成長を牽引する環境対応車やスマートフォン／タブレット端末関連分野での覇を競って熾烈な競争が繰り広げられており、世界シェア上位が容易に変わり得る状況にあります。

このような状況の中、当社グループは、中期経営基本目標の一つである「連結売上高300億円への回帰」の実現とさらなる収益力向上に向けて、経営基本方針に掲げる3つのイノベーション（プロダクト／プロセス／パーソネル）の推進に取り組んでおります。当第3四半期におきましては、今後業量の大幅な拡大を計画しているベトナム工場では、来期早々の稼働に向けて第2期拡張工事を着々と進めるとともに、品質保証体制の強化により品質確保コストを低減するなど収益体制強化に努めました。また、コネクタ製品の主力工場であるマレーシア工場では、生産移管品目の拡大により回路検査用コネクタセグメントのさらなる収益性向上を推進いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、無線通信機器セグメントが前四半期に続き減少いたしました。半面、車載通信機器セグメント及び回路検査用コネクタセグメントが円安効果も手伝って前年同期比で大幅な伸長が続いたことにより、247億8千万円（前年同期比+12.7%）となりました。営業損益につきましては、製品・事業構成の変化などによる利益率低下、中国における労務費増加、その他一時的費用の発生などにより、5億3千9百万円の利益（前年同期比△18.0%）と、前年同期比で減益となりました。経常損益につきましては、さらなる円安進行に伴う為替差益3億6千4百万円の計上などにより、9億3千9百万円の利益（前年同期比+17.7%）と、前年同期比で増益となりました。四半期純損益につきましては、投資有価証券売却益1億6百万円の計上及び税金費用の大幅な減少により、10億7百万円の利益（前年同期比+101.0%）と、前年同期比で大幅な増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<車載通信機器>

当セグメントの主要市場である自動車市場は、成長が続く新興国市場と回復軌道に乗った米国市場に牽引され、着実に拡大を続けております。国内におきましても、海外市場での需要拡大と円安を受けた輸出増加に加え、国内新車販売が消費税増税前の駆け込み需要もあり堅調に推移しております。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるマイクロアンテナをはじめとする自動車メーカー向け製品の販売は、海外向け販売の順調な推移に加えて国内向けも増加し、前年同期を大幅に上回りました。また、国内向けを主とするフィルムアンテナの販売も、ディーラーオプション向けの伸長などにより、前年同期を大きく上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は151億6千3百万円（前年同期比+20.7%）と、前年同期比で大幅な増収となりました。セグメント損益につきましては、海外生産拠点における労務費上昇に、円安に伴う相対的なコストアップが重なり、5百万円の損失（前年同期比1億8千7百万円の減少）となりました。

<回路検査用コネクタ>

当セグメントの主要市場である半導体検査市場は、パソコン向けの検査需要は減少に歯止めがかからない状況にありますが、世界的な普及拡大が続くスマートフォン／タブレット端末向けやクラウドコンピューティング向けは順調に拡大するものと見られております。

このような状況の中、一部の製品が国内顧客からの受注減少などにより前年同期を下回ったものの、当社グループの主力製品であるIC検査用BGAソケットの販売が、スマートフォン／タブレット端末向け検査需要の積極的な取り込みなどにより順調に推移し、前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は46億1千8百万円（前年同期比+13.0%）と、前年同期比で増収となりました。セグメント損益につきましては、2億5千3百万円の利益（前年同期比+32.3%）となりました。

<無線通信機器>

当セグメントの主要市場である携帯端末市場は、順調に利用拡大が進むスマートフォン／タブレット端末に牽引され成長が続いておりますが、新興メーカーや他業種大手企業などの参入が相次ぎ、シェア争いの激化とともに低価格化が進行しております。

このような状況の中、微細スプリングコネクタを中核製品とするファインコネクタ事業におきましては、海外大手顧客からの受注が伸び悩み、売上高は前年同期を若干下回りました。

携帯端末向けアンテナ事業につきましては、海外大手顧客からの受注が急減し、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

当セグメントに含めておりますメディカル・デバイス事業につきましては、一部顧客の生産調整の影響を受けたものの、ガイドワイヤユニットなど組立加工ビジネスの着実な拡大により、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は49億9千9百万円（前年同期比△6.4%）と、前年同期比で減収となりました。セグメント損益につきましては、2億3百万円の利益（前年同期比△46.7%）となりました。

(事業セグメント別連結売上高 前年同期比較) (単位：百万円、%)

	前第3四半期 連結累計期間 自平成24年4月 至平成24年12月	当第3四半期 連結累計期間 自平成25年4月 至平成25年12月	前年同期比
	売上高	売上高	増減率
車載通信機器	12,564	15,163	+20.7
回路検査用コネクタ	4,087	4,618	+13.0
無線通信機器	5,343	4,999	△6.4
合計	21,995	24,780	+12.7

(事業セグメント別連結売上高 四半期別推移) (単位：百万円)

	第1四半期 連結会計期間 自平成25年4月 至平成25年6月	第2四半期 連結会計期間 自平成25年7月 至平成25年9月	第3四半期 連結会計期間 自平成25年10月 至平成25年12月
車載通信機器	4,842	5,044	5,275
回路検査用コネクタ	1,420	1,640	1,556
無線通信機器	1,863	1,618	1,517
合計	8,127	8,303	8,350

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権増加8億1千4百万円、たな卸資産増加8億6千9百万円、有形固定資産増加10億5千8百万円、投資有価証券増加3億8千万円などにより、275億1百万円（前連結会計年度末比33億6千万円の増加）となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、賞与引当金減少1億6千8百万円などに対し、仕入債務増加7億3百万円、短期借入金増加6億円などにより、91億6千5百万円（前連結会計年度末比13億9千8百万円の増加）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、四半期純利益10億7百万円の計上、為替換算調整勘定増加8億6千4百万円、その他有価証券評価差額金増加2億6千9百万円、配当金の支払1億8千万円などにより、183億3千5百万円（前連結会計年度末比19億6千1百万円の増加）となりました。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は66.7%（前連結会計年度末比△1.2ポイント）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、前記「(1)経営成績に関する説明」に記載のとおり、前回(平成25年11月13日)公表の通期業績予想値に対して、経常利益及び四半期純利益が為替差益計上などにより大幅に上回る結果となりましたが、為替相場をはじめとして予測困難な不確定要素が多いことから、現時点では前回の業績予想値を変更いたしません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,609,895	3,626,366
受取手形及び売掛金	6,154,856	6,969,121
商品及び製品	1,542,262	2,354,630
仕掛品	395,112	182,892
原材料及び貯蔵品	1,502,023	1,771,129
その他	1,003,937	1,120,970
貸倒引当金	△1,804	△7,984
流動資産合計	14,206,282	16,017,125
固定資産		
有形固定資産	6,471,760	7,530,525
無形固定資産		
その他	990,318	933,539
無形固定資産合計	990,318	933,539
投資その他の資産	2,472,526	3,020,323
固定資産合計	9,934,604	11,484,388
資産合計	24,140,887	27,501,514
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,514,400	4,218,205
短期借入金	500,000	1,100,000
未払法人税等	136,294	170,074
賞与引当金	338,757	170,524
その他	1,541,142	1,743,057
流動負債合計	6,030,594	7,401,861
固定負債		
長期借入金	500,000	500,000
退職給付引当金	276,256	232,113
その他	960,103	1,031,638
固定負債合計	1,736,359	1,763,751
負債合計	7,766,954	9,165,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,996,269	3,996,269
資本剰余金	3,981,928	3,981,928
利益剰余金	9,106,477	9,934,281
自己株式	△991,203	△991,297
株主資本合計	16,093,471	16,921,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260,662	530,192
為替換算調整勘定	19,799	884,527
その他の包括利益累計額合計	280,461	1,414,720
純資産合計	16,373,933	18,335,901
負債純資産合計	24,140,887	27,501,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	21,995,391	24,780,473
売上原価	17,442,939	19,922,089
売上総利益	4,552,451	4,858,384
販売費及び一般管理費	3,894,349	4,318,754
営業利益	658,102	539,629
営業外収益		
受取利息	5,475	4,546
受取配当金	33,436	36,568
為替差益	122,495	364,686
その他	33,006	30,109
営業外収益合計	194,414	435,910
営業外費用		
支払利息	25,232	24,294
支払手数料	12,639	8,293
その他	16,328	3,457
営業外費用合計	54,200	36,045
経常利益	798,316	939,494
特別利益		
固定資産売却益	652	2,970
投資有価証券売却益	417	106,968
特別利益合計	1,069	109,938
特別損失		
固定資産売却損	3,100	146
固定資産除却損	12,814	15,769
投資有価証券評価損	334	—
特別損失合計	16,249	15,916
税金等調整前四半期純利益	783,136	1,033,516
法人税、住民税及び事業税	207,033	159,129
法人税等調整額	74,636	△133,463
法人税等合計	281,670	25,666
少数株主損益調整前四半期純利益	501,465	1,007,850
四半期純利益	501,465	1,007,850

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	501,465	1,007,850
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△118,739	269,529
為替換算調整勘定	389,123	864,728
その他の包括利益合計	270,383	1,134,258
四半期包括利益	771,849	2,142,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	771,849	2,142,108
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,564,761	4,087,160	5,343,469	21,995,391	—	21,995,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	130,474	—	130,474	△130,474	—
計	12,564,761	4,217,634	5,343,469	22,125,865	△130,474	21,995,391
セグメント利益	181,284	191,432	381,254	753,971	△95,869	658,102

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	753,971
たな卸資産未実現利益調整額	△72,430
たな卸資産評価減調整額	△27,005
その他調整額	3,566
四半期連結損益計算書の営業利益	658,102

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	車載通信機器	回路検査用 コネクタ	無線通信機器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,163,020	4,618,006	4,999,446	24,780,473	—	24,780,473
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	175,114	—	175,114	△175,114	—
計	15,163,020	4,793,120	4,999,446	24,955,587	△175,114	24,780,473
セグメント利益又は損失(△)	△5,903	253,170	203,377	450,645	88,983	539,629

(注)セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益との調整を行っています。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	450,645
たな卸資産未実現利益調整額	△40,927
たな卸資産評価減調整額	△3,394
その他調整額	133,305
四半期連結損益計算書の営業利益	539,629